

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			令和8年2月1日(回答期間：令和7年12月5日～12月20日)	
放課後等デイサービス アツすまいる二条岡崎		回答数			職員数：11人、回答数：9件	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見	改善目標、工夫している点等
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	1	普段の活動時はいいが、おやつなど椅子に座って何かを行う際に座りきれない場合がある。ノール遊びなど狭くて難しいときがある。	椅子の数は十分あるが、机が全員で座るには狭いため、現時点では座卓で対応しています。将来的に机を増やしたいと考えています。ノ職員の数に余裕があれば公園などに行きたいですが、送迎などもあるので現状室内で場所を決めてボール遊びをしていただいています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	0	送迎の時間帯は、特にスタッフ不足が目立つ。ノ社員さんは事務所で仕事をされていることが多々あり、気がついたら3人とかの時があるため	その日の利用定員に対しての職員の配置は規定通りですが、送迎、介助などで一時的に室内待機が不足する場合がありますので、安全に配慮して支援に努めています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	0	トイレが広いととってもいい	トイレの段差解消や壁紙の交換など、これまでも環境整備を行ってまいりました。今後も必要に応じて、改善していきたいと考えております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	0	おやつのお皿、クッキングで使った食材などが落とされたまま放置されていることがある。食物アレルギーをお持ちの児童もいるため、清掃はもっと徹底した方がよいと感じる。ノ小学校高学年から中学生はたまに退屈しているから	アレルギーをお持ちのお子様がいる日は、特に徹底して掃除をするように申し送りでも伝えていますが、不足している部分もあると思いますので、スタッフ間で連携して清潔な環境づくりをしていきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	0		
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	0		職員の自己評価と同時期に保護者等からの事業所評価をアンケートにて実施しております。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	0		毎日の業務ミーティングや事業所毎の委員会にて、職員の意見を聞く機会を積極的に設けております。また、日頃の会話の中で業務について個別に相談を受け付けていますので、お気軽にお声がけください。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2	0		第三者による評価は現在行っておりません。より一層質の高い事業所にしていくためにも、今後検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	0		月に一回程度、全事業所合同でのミーティング・研修を行い、「虐待防止」「感染症」「防災」「特性理解」「事故防止」「救急対応」等について全職員で学ぶ機会を設けています。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	0		HPにて公表しています。
	12 個々の子供に対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービスガイドラインを作成しているか。	7	1	0		
	13 放課後等デイサービスガイドラインを作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	0		
	14 放課後等デイサービスガイドラインが職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	0		個別支援計画はお子さまごとの「個別ファイル」にこれまでのものをすべて保管しており、いつでも閲覧可能となっております。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	0		5領域アセスメントとS-M社会生活能力検査によるアセスメントは全員に実施しており、必要に応じて日々の行動記録を取るなど、より正しく理解し支援に繋げられるように努めております。
	16 放課後等デイサービスガイドラインには、児童発達支援ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項	7	0	0		全項目を網羅した個別支援計画を作成し、保護者の方の同意を得た上で交付しております。今後もライフステージやご本人・保護者様のご意向にあわせて、支援内容を見直してまいります。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3	0	立案、作成を行っている人がほぼ固定されている。	現在は社員間で意見を出し合いプログラム作成を行なっています。また、パートさんにもアイデアをいただくなど充実したプログラムを目指しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービスガイドラインを作成し、支援が行われているか。	7	0	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	0	社員のみで支援する日は、打ち合わせが省略されることが多い。出勤されるパート・アルバイトさんが1人の場合は、スタッフ全員での打ち合わせをせず、社員と一対一で申し送りをすることもある。	社員間では午前中にその日の事について話をしています。社員の日も多く、パートさんやアルバイトさんの方が1人の事も多く、その場合は同じことの繰り返しになるので個々で申し送りをする形をとっていました。共有することもあるので、再度、全員で行なうように徹底いたします。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	0		送迎の帰着時間が異なるため、全員での振り返りは難しいですが、個別での引継ぎや書面で翌日以降へ引継ぎを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	0		お子さまの連絡帳にて支援の記録を行い、業務日誌や活動記録、業務申し送り表を通して支援の記録を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービスガイドラインの見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	0		定期的なモニタリングを行い、計画を作成しています。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	0		障害児通所支援事業所とは、必要に応じて情報交換させていただいています。また、児童発達支援センター主催の研修に参加しています。
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	0	自分が把握していない	お子さまや保護者様からの聞き取り、必要に応じて関係機関と連携をとっております。これらは一部の正社員が行っている為、パート・アルバイト職員の方が把握できていない状況にあります。支援体制について今一度、共有・周知を図ります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	0		
	27	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	1	0		自立支援協議に参加し、個々の課題を地域課題をしてあげることで、地域全体の福祉の向上に繋がると考えています。また、京都市等が主催する研修に参加した際は、事業所間の横の繋がりを強化できるよう、関係づくりに努めています。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2	0		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	1	2		活動として企画していることはまだありませんが、地域の外出等で関わる機会があります。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	0	送迎時に保護者様へお子様の様子をお伝えしようとするが、引き渡して終わってしまう(すぐにドアを閉められる等)ことも多々あり、共有が不十分なところがある。	保護者様のニーズも確認しながら、密に情報共有を行えるよう、送迎時以外のコミュニケーションも含めて再度検討いたします。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	1		現在は行っておりません。保護者様のニーズに応じて、定期的に交流できる場の開催を検討できればと思います。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	0		契約時にご説明しております。ご不明な点等お問い合わせいただいた場合には、管理者を中心にその都度対応いたしております。
	33	放課後等デイサービスガイドラインを作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	0		
	34	「放課後等デイサービスガイドライン」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービスガイドラインの同意を得ているか。	5	0	0		

	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	0		
保護者への説明等	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	1	機会を設けられるようにしたい。	保護者様のニーズに応じて、定期的に交流できる場の開催を検討できればと思います。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	0		モニタリング時間以外でも、必要に応じて面談や電話にてご相談をお受けしております。相談内容は記録に残し、対応した職員以外にも共有を図っております。
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	0		毎日、保護者様向けの活動記録(HUG内)をアップし、翌月のプログラム表とお便り「すまいる便」を毎月配布しております。また、事業所毎にInstagramを運用し、開かれたクリーンな事業所を目指しています。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	0	Instagram投稿の際、児童の顔がしっかり隠せておらず、確認不十分のまま投稿してしまったということが多々ある。	SNSへ投稿する前に、複数人で内容・写真を確認する体制をとってはいますが、今後はさらに確認体制を強化し、不備が無いように努めます。
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	0		絵カードやハンドサイン等、非言語でのコミュニケーションにも出来る限り対応しております。送迎時にご不在のご家庭もあるため、毎日の連絡帳に加えLINE等でのやり取りも行き、対面以外での情報共有も行っております。
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	1	機会を設けたいと思っている。	スペースの都合もあり事業所内に来ていただく事は難しいのですが、外部の場所を借りて交流できる機会を企画しております。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	0		年に一度、各種マニュアルの見直しを行うとともに、感染症等は訓練・研修を行っております。緊急対応マニュアルについては、事業所内の見やすい場所に掲示すると共に、各送迎車両にも携行しております。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	0		年に一度、BCPの見直しを行うとともに、訓練・研修を行っております。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	0		契約時のアセスメントに加え、定期的なモニタリング時や日頃から、服薬や対応方法を確認しております。
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	0		アレルギーのあるお子さまは保護者と連携し、指示に従って対応しています。
非常時等の対応	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	0		安全計画に基づく防災学習や一時救命措置に関する研修を年に一回実施しております。外部の有資格者より、実技形式にて学ぶ機会を設けております。
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	0		年に一度「安全計画」の更新を行っており、9月(防災月間)に保護者の皆様へお渡ししております。職員へは、安全研修の中で周知しております。研修欠席者へは書面で確認していただいております。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	0		事業所毎にヒヤリハット報告書を作成し、随時共有していません。一年に一度程度、法人全体での事例共有と対策の検討も行い、事故防止に努めています。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0		年に一度、外部講師の方を招き、ご講演いただいております。京都市等が実施する研修にも積極的に参加し、事業所内で研修内容の共有を図り、虐待防止に努めております。
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービスガイドラインに記載しているか。	8	0	0		法人内に設置された委員会の他に、事業所内でも身体拘束適正化委員会を定期的実施し、意識の向上に努めております。必要に応じて、個別支援計画にも記載しご説明しております。